

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 1 月 2 2 日

議 会 議 長 様

議席番号 4 番

議員氏名 久 松 祐 樹

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 事業が循環する予算編成か	<p>「将来の資産になるか負債になるか」「補助金が切れた後も回るか」「お金を生まない構造を固定化していないか」これらは非常に重要であり、当町の事業が結果として、実質的な予算消化手続きになってはいけない。「支出→老朽化→予算要望」ではなく、「投資→回収→更新→再投資」と、事業として循環することが重要だと考える。そこで、令和8年度の予算編成に対して、以下伺う。</p> <p>(1) 令和7年12月議会の一般質問において、令和8年度の歳出予算の要求額が14.1億円超過しているとの答弁であったが、最終的にはいくらまで圧縮できたのか。また、財源不足のため削減せざるを得なかった主な事業は何か。</p> <p>(2) 社会福祉も大切だが、お金が循環せず、現状のような厳しい財政状況の一因になっていると考える。令和8年度予算において、民生費はどのように考え、予算編成をされたのか。</p> <p>(3) 将来的に発展性を見込める事業への投資が重要と考えるが見解は。また、令和8年度予算において、将来的に発展性を見込みがあり、お金が循環していく投資的な事業はあるのか。</p>	町長 副町長 総合政策課長 福祉課長 担当課長

1 月 2 2 日 午前・午後 1 1 時 0 0 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 水道事業に 経営的手法を	<p>栃木県那須町の藤和那須リゾート株式会社が管理運営する「那須ハイランド」は、民間企業として60年にわたり別荘地を管理し、水道インフラ更新率95%という行政では実現困難な水準を達成した。藤和那須リゾートは、水道事業を収益事業として捉え、適正な料金設定と確実な更新投資を両立させてきた。IoT (Internet of Things) 技術を活用した水道用クラウドサービスも導入し、約1,400個の水道メーターを遠隔管理されている。また、漏水の早期発見により、無駄な水資源の損失も防いでいる。この事業は民間事業であるが、その運営手法や技術活用には、自治体水道事業にとっても参考になる点が多いと考える。耐用年数が50年の配管を更新するとき、単純に「壊れたら直す」という事後保全ではなく、予防保全によって30%程度のコスト削減が期待できるという調査もある。このような民間の経営手法の導入を提案するが、当町の見解を伺う。</p>	<p>町長 副町長 上下水道課長 担当課長</p>
3. 犬のフン放置 への対策は	<p>町内には「フンは飼い主が持ち帰ってください」という注意喚起の看板を数多く設置されているが、舗装されている歩道にも犬のフンが落ちていることもあり、近隣住民が清掃されている現状がある。近隣住民からフンの放置について、何か対策はできないだろうかと困惑したお声をいただいている。フンの放置自体に対して、当町に責任はないが、放置により不快を感じている地域住民はいらっしゃり、町内の秩序を保つという点で、町に対策を求められるところはあると考える。看板の効果を含め、フンの放置における取組や課題を伺う。</p>	<p>町長 副町長 環境課長 担当課長</p>